



三菱自動車工業株式会社

証券コード：7211

# 株主通信

平成28年度(2016年度)

上半期のご報告

2016年4月1日～2016年9月30日

 **MITSUBISHI MOTORS**

## CEOからのごあいさつ



燃費試験の不正行為により、  
ステークホルダーの皆様にも多大な  
ご迷惑とご心配をおかけしたことを  
心より深くお詫び申し上げます。

取締役会長 兼  
取締役社長 CEO

益子 修

### 燃費試験の不正行為について

この度の燃費試験の不正行為について、走行抵抗に恣意的な改ざんが行われていたこと、さらに法令で定められた「惰行法」と異なる走行抵抗の測定方法を使用していたことなどにより、多くのステークホルダーの皆様にも多大なご迷惑・ご心配をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

### 経緯のご報告

2016年4月20日	燃費試験の不正行為判明、国土交通省より調査指示を受ける
2016年4月25日	特別調査委員会を設置
2016年6月17日	23項目の再発防止策を国土交通省へ報告
2016年8月2日	特別調査委員会の報告書を公表 「自動車開発に対する理念の共有がなされず、全社一体となって取り組む姿勢が欠けていた」 などのご指摘を受ける
2016年9月30日	9月15日に国土交通省より追加指示を受領し、新たに8項目の再発防止策を追加 6月17日報告の23項目の実施状況について報告

## 全社を挙げての再発防止策のご報告

当社は現在、内部統制・ガバナンス・コンプライアンス体制の抜本的な改革を行い、業務執行の適正性・効率性の確保に向けた改善・充実を図っております。具体的には、燃費届出適正化のための施策、再発防止体制構築推進組織(事業構造改革室)の設置など、組織体制・業務プロセスの抜本的な見直しを行っております。

クルマづくりを一から見つめ直し、お客様の信頼を回復するため、不断の努力を続けてまいります。

### 信頼回復に向けた取り組み

#### 国土交通省による指導内容

- ◆ 法令順守意識の徹底
- ◆ 組織・業務内容の見直し
- ◆ 再発防止策の策定／進捗状況の報告

#### 特別調査委員会が示した改革の指針

- ◆ 開発プロセスの見直し
- ◆ 制度・組織・社内取り組みの見直し
- ◆ 人事制度の改革
- ◆ 法規趣旨の啓発
- ◆ 不正発見・是正に向けた取り組み

#### 当社が取り組む再発防止策

- ◆ フラットな開発組織体制への見直し
- ◆ 開発担当副社長による事業構造改革室の設置
- ◆ 開発担当副社長自ら認証届出内容の確認
- ◆ 技術者向け法規教育の制度化
- ◆ 開発部門における監査体制の強化

⋮  
⋮  
⋮

全31項目

信頼回復・企業価値向上

## 三菱自動車、ルノー・日産アライアンスの一員に

当社は2016年10月20日に、日産自動車株式会社(以降、「日産自動車」)より2,370億円の出資を受けました。これにより日産自動車は当社発行済株式の34%を保有する単独筆頭株主となりました。当社は、日産自動車とルノーの17年間にわたる力強いグローバルアライアンスの正式な一員となりました。

### 取締役会長候補にカルロス・ゴーン氏を選出

日産自動車の社長兼最高経営責任者(CEO)のカルロス・ゴーン氏が当社の取締役会長候補に、益子修 現取締役会長兼社長が同取締役社長候補に、各々選出されました。

ゴーン&益子の新体制の下、経営の抜本的な立て直しを進めるとともに、日産自動車と当社の軽自動車における5年間の連携を礎に、シナジー創出のための多岐にわたるプログラムを開始していきます。両者を含めた新体制は、12月14日に開く臨時株主総会にて正式に発足いたします。



記者会見を終え、握手するカルロス・ゴーン  
日産自動車社長(左)と益子修 当社会長兼社長

### シナジー効果により営業利益率の向上へ

本アライアンスにより、当社は継続的に大きなシナジーの創出を見込んでおり、次年度の2017年度には営業利益率が1%、2018年度には2%、2019年度には2%以上の向上を期待しています。

#### 期待されるシナジー効果

- ◆ 共同購買コストの削減 ◆ グローバルでの現地化の推進 ◆ 工場の共用 ◆ 共通の車両プラットフォーム
- ◆ 技術の共有 ◆ 発展途上市場および新興市場における両社のプレゼンスの拡大
- ◆ 豪州等の市場における三菱自動車のお客様向けに日産自動車の販売金融会社を活用

## 決算概況

2016年度上半期の売上高は、前年同期比19%減の8,649億円となりました。

営業利益は、燃費不正問題による日本での販売台数の減少、為替の悪化、市場措置費用の積み増し、中東・中南米での台数の減少等の影響が大きく、前年同期から900億円減益の△316億円となりました。また、経常利益は△282億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は△2,196億円となりました。

販売台数(小売)は、前年同期比16%減の436千台となりました。

日本では燃費不正問題の影響により、前年同期比37%減の29千台となりました。

北米では、『アウトランダー』の台数が増加しました

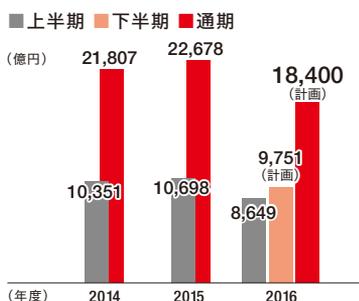
が『ミラージュ』が減少し、前年同期並みの69千台となりました。

欧州では、経済停滞の続くロシアで落ち込んだことなどから、前年同期比13%減の90千台となりました。

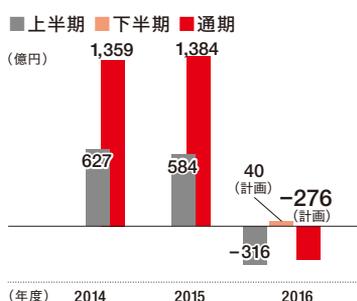
アジアでは、アセアン地域で販売好調な『パジェロスポーツ』や、フィリピンやタイでの積極的な販売施策により台数が増加しました。一方で、インドネシアでの資源価格の低迷による軽商用車の減少、中国での新商品が少ないことによる競争力低下などにより、前年同期比8%減の140千台となりました。

その他地域では、原油安による市場の景気低迷などにより、特に中東・中南米で台数が大きく落ち込み、前年同期比28%減の108千台となりました。

### ◆ 売上高



### ◆ 営業利益



### ◆ 販売台数(小売)



※当資料に掲載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、掲載された将来の計画数値、施策の実現を確約・保証するものではありません。

# INFORMATION

## 各地の国際モーターショーで革新的なコンセプトカーを世界初披露

インドネシア国際オートショー  
2016年8月12日～8月21日 / インドネシア

### スモールサイズのクロスオーバーMPVコンセプトカー 『MITSUBISHI XM Concept』

当社が得意とするSUVの力強さとMPVの多用途性を融合させた、スモールサイズのクロスオーバーMPVコンセプトカー『MITSUBISHI XM Concept』。MPVとして乗員7名がゆったりくつろげる居住空間と、高めの地上高などSUVらしいスタイリングや機能が融合した同モデルは、アセアン地域最大の自動車市場、インドネシアにて大きな注目を浴びました。同コンセプトを採用したスモールサイズのMPVは、2017年より稼動する新工場（西ジャワ州ブカシ県）で同年10月より生産を開始する予定です。



パリモーターショー  
2016年10月1日～10月16日 / フランス

### グラウンドツアラーSUV 『MITSUBISHI GT-PHEV Concept』

世界で一番長い歴史を誇るモーターショー「パリモーターショー」にて、独自のトリプルモーター方式のプラグインハイブリッドEVシステムを搭載した次世代クロスオーバーSUVのコンセプトカー『MITSUBISHI GT-PHEV Concept』を世界初披露しました。そのほか、先進安全技術を新たに搭載した『アウトランダー』や、EV走行を優先させるEVプライオリティーモードを採用した『アウトランダーPHEV』の2017年モデル（欧州仕様）など計13台を出品し、当社が得意とする電動化をクローズアップした展示となりました。



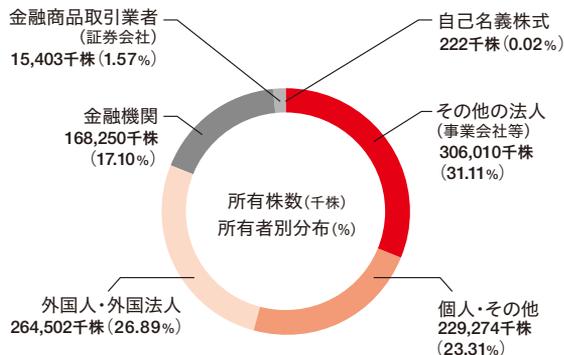
# 株式情報 (2016年9月30日現在)

発行可能株式総数 1,575,000,000株 発行済株式総数 983,661,919株 株主数 288,856名

## 大株主 (2016年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
三菱商事株式会社	137,682	13.99
三菱重工株式会社	124,293	12.63
株式会社三菱東京UFJ銀行	48,717	4.95
MHIオートモーティブ・キャピタル 合同会社MMC株式運用匿名組合2	23,768	2.41
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	22,577	2.29
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	20,894	2.12
JP MORGAN CHASE BANK 385632	10,889	1.10
CBNY - GOVERNMENT OF NORWAY	9,122	0.92
CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW	9,120	0.92
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	9,085	0.92

## 所有者別株式分布状況 (2016年9月30日現在)



## 「配当金の口座受取制度」のご案内

配当金を銀行等の預金口座へ入金するお手続きをさせていただきますと、配当金支払開始日に株主様のご指定の口座に振り込まれ、安全・確実に配当金をお受取いただくことができます。配当金を「配当金領収証」でお受取の株主様は、この機会にご検討ください。

## 株式に関する「マイナンバー制度」のご案内

通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きが必要となります。速やかにお取引の証券会社等へお届出ください。

### 株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められた通り、支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。

#### 【主な支払調書】

- ◆ 配当金に関する支払調書
- ◆ 単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

## 株式手続きのご案内

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会開催時期	毎年6月
同総会議決権行使株主確定日	3月31日
期末配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日
その他の基準日	上記のほか必要のある場合は、取締役会の決議によりあらかじめ公告して設定します。
公告の方法	電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは東京都内において発行する日本経済新聞に掲載して行います。 (公告掲載アドレス) <a href="http://www.mitsubishi-motors.com/jp/corporate/ir/stockinfo/koukoku.html">http://www.mitsubishi-motors.com/jp/corporate/ir/stockinfo/koukoku.html</a>
1単元の株式数	100株
証券コード	7211
株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
郵便物送付先・電話照会先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel: 0120-232-711 (フリーダイヤル)

株式に関する配当金の口座受取制度、マイナンバー制度、その他各種お手続き等のお問い合わせについて

1. 証券会社等の口座をご利用の場合…お取引の証券会社等にお問い合わせください。
2. 「特別口座」に記録されている場合…三菱UFJ信託銀行株式会社 (Tel: 0120-232-711) お問い合わせください。

# 会社の概要 (2016年9月30日現在)

社名	三菱自動車工業株式会社
本社	〒108-8410 東京都港区芝五丁目33番8号 Tel:03-3456-1111(大代表)
設立	1970年4月22日
従業員数	連結:30,126名 単独:13,259名
資本金	165,701百万円

## 役員 (2016年9月30日現在)

### 取締役

取締役会長 兼 取締役社長(代表取締役) CEO	益子 修
取締役(代表取締役) 副社長執行役員(開発、品質担当)	山下 光彦
取締役(代表取締役) 副社長執行役員 (海外事業、グローバル・アフターセールス担当)	白地 浩三
取締役(代表取締役) 副社長執行役員(財務、経理担当) CFO	池谷 光司
取締役 専務執行役員 国内営業統括部門長	服部 俊彦
取締役 専務執行役員 生産統括部門長	安藤 剛史
取締役(社外取締役)	坂本 春生
取締役(社外取締役)	宮永 俊一
取締役(社外取締役)	新浪 剛史
取締役(社外取締役)	小林 健

### 監査役

監査役(常勤)	中村 義和
監査役(社外監査役)	永易 克典
監査役(社外監査役)	岩波 利光
監査役(社外監査役)	竹岡 八重子
監査役(社外監査役)	大庭 四志次

- 注) 1. 取締役 坂本春生氏、宮永俊一氏、新浪剛史氏、および小林健氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。  
2. 監査役 永易克典氏、岩波利光氏、竹岡八重子氏、および大庭四志次氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

Drive@earth



MITSUBISHI MOTORS

## 株主通信

三菱自動車工業株式会社 平成28年度(2016年度)上半期のご報告

2016年12月発行

〒108-8410 東京都港区芝五丁目33番8号

Tel: 03-3456-1111(大代表) <http://www.mitsubishi-motors.co.jp/>

